

## 紀の川市行財政改革推進委員会会議概要

日 時：令和5年8月29日（火）10:00－11:40

会 場：紀の川市役所5階 502 中会議室

出席者：仁藤委員、箕輪委員、赤井委員、恩賀委員、野村委員、中村委員、川端委員

事務局：企画部：角企画部長

企画経営課：栗本次長、今井班長、西端主任、森本主事

人材マネジメント課：長田課長、中川副課長

公共施設マネジメント課：東課長、西専門監

財政課：速水課長、山中班長

デジタル推進室：岩橋室長

### 1. 開会

### 2. 会長挨拶

### 3. 議題

#### (1) 令和4年度 行財政改革推進計画の進捗状況について

#### 行財政部会【事務局から説明】

委員	① 電子申請の利用件数が増加したとあるが、紀の川市民の割合はどのくらいか。 ② スマートフォン相談窓口の利用者数は何人か。 ③ RPAにより業務時間が削減したとあるが、超過勤務が減っていない。削減した時間は何に使ったのか。 ④ PPP/PFI 研修へ参加した成果はあるか。
事務局	① 各手続の件数は把握していますが、紀の川市民の割合は把握していません。他府県の方が多く、課税証明などは市民も一定数利用していただいています。 ② 16回で78名に利用していただいています。 ③ 大きく削減したのは、課に届くメールの振り分けなどで削減しています。その分は別の業務に注力していますが内容は把握できていません。 ④ 官民対話（サウンディング）手法や、新たな知見の獲得に繋がりました。
委員	PPP/PFI に関して、具体的に何か実施するところまでいっていないのか。
事務局	そこまでは至っておりません。
委員	PPP/PFI 研修には何名参加したのか。
事務局	2人がWEBで参加しています。

委員	研修に参加しただけではなく、参加して学んだことを庁内に広げるようお願いしたい。生成AIをうまく活用すると職員の負担が軽減できる。一方で、情報漏洩や間違った情報などデメリットもある。市の活用方針は決まっているのか。
事務局	方針はまだ決まっていません。先進地では方針もあり、活用もしているところもあります。DX推進員を対象にソフトバンクから来ているデジタル推進監の研修を計画し、各種取り組みを実施しています。紀の川市では、使用を禁止するのではなく活用したいと考えています。
会長	助言を生かしてください。

### 人事部会【事務局から説明】

委員	DXで削減できている部分について人材マネジメント課としてどう考えているのか。
事務局	本来業務に注力でき、住民サービスの向上につながっていると考えています。
委員	電子申請は職員が今までやってきたことを市民がやっている。残業が減っていないのは。もっと残業があったのが減ったということではないのか。
事務局	職員の負担を減らし、市役所に来なくてもサービスを受けられるように、市民サービスの向上に努めています。
委員	もっとあった残業が減ったということではないのか。
事務局	市民サービスの向上に繋がっています。
会長	助言を生かしてください。

### 施設部会【事務局から説明】

質疑なし

### 財政部会【事務局から説明】

質疑なし

### (2) 令和4年度行財政改革の推進体制・推進計画について【事務局から説明】

質疑なし

### (3) 令和5年度 行財政改革推進事項について

#### 行財政部会【事務局から説明】

委員	生駒市の例とあるが、何が先進的か。
----	-------------------

事務局	協創対話窓口を設置しており、ガイドラインやルールを定め、民間事業者と協創しています。他の自治体も参考にしていきたいと考えています。
委員	PPP/PFI 研修に 10 人参加させるとあるが、参加だけか。
事務局	サウンディング（官民対話）も進めていきたいと考えています。
委員	指定管理制度や公営企業も関連してくる。担当課も参加するのか。
事務局	関連する複数の部署で参加を予定しています。

### 人事部会【事務局から説明】

委員	人員最適化とあるが、人数に当てはめるとの意味か。適正人員は見直さないのか。
事務局	適正化計画の数値は令和 8 年度まで定めていますが、人口、財政などの状況から適正人員を定めています。試験の合格の後辞退や中途退職などで定数に達しないこともあります。計画の 100%達成を目指し、また専門的な職種を育てていきたいと考えています。
委員	財政との関係で人員を減らすなどの話はあるのか。
事務局	令和 8 年度まではこのままを予定しています。
委員	職員がやめる理由は何があるか。
事務局	転職（県、他市）、病気など様々な理由があります。

### 施設部会【事務局から説明】

質疑なし

### 財政部会【事務局から説明】

委員	コスト削減とあるが、物価上昇の中でコスト削減を前に出すと受注者をいじめているという声がある。物価があがるのは仕方がないが、適正な財政運営を。地元の業者さんが苦しんでいる。
事務局	検討いたします。

### DX 部会【事務局から説明】

委員	スマートフォン教室の開催を 7 8 回とあるが、デジタルデバインド対策としては少ない。市役所でやるだけでなく、出前や人数を集めたらそこへ行くなど、このアプリを使えば市につながるということを教えてあげないといけない。一回では忘れてしまうので、わかりやすいデジタル化を推進していただきたい。
----	---

事務局	デジタルデバインド対策は、基本編と応用編を実施しています。基本編はソフトバンクが旧町単位で実施しており、1回に10名参加がないと実施できません。応用編はフレイルサポーターに依頼しています。また、スマホ相談は本庁で行っています。現状としては、同じ人が何度も相談に来る等もありますが、利用していただいている状況です。本庁だけでなく別の会場での実施も検討していきます。
委員	デジタル化して電子申請するときに、エクセルやワードで作ったものを利用することができれば便利。申請者にとって便利な制度設計を。そこを考えないと利用者が増えない。
事務局	マイナンバーを利用すると住所、氏名を入力する必要がなくなる等、利便性が向上しています。デジタルでは一度聞いた情報は再度聞かないように考慮して作るようになっています。
委員	郵送でなく、メールで送付できるような検討はできないか。
事務局	全国的にもまだそこまで至っていません。

会長より、ご意見を会長と事務局で取りまとめ、後日、郵送により委員各人に内容確認いただく旨を説明し、了承。その後、本会より市長に対して、提言書を提出する旨を確認。

議長解任

#### 4. その他

- ・事務局 次回の開催について依頼

#### 5. 閉会